

・粥大人・

很久以前某个地方有一个贫穷但心肠好的农夫。

有一天，他在耕地的时候偶然挖到了财宝，因此他的生活完全变了。

因为突然变成了有钱人，所以不知道怎么花钱，这就是所谓的暴发户。

他开始过着穷奢极欲的生活，对食物特别讲究还被称为“美食大人”。

如果只是那样还可以，性格也变了，变得傲慢，瞧不起人了。

有一天，听到传闻的伯父来了。

侄子：哎呀！伯伯好久不见，我最近觉得工作太无聊了，好吃的东西也吃腻了。

伯父：这样啊，那我就带你去吃好吃的。

侄子：真的吗？钱有的是，哈哈。

过了一会儿，他们俩来到了郊外的一个小房子那儿。

侄子：啊？是这儿吗？

伯父：对。进去吧！

门哗的一声拉开了！伯父一把侄子推

进了房间里，就从外面上了锁。

侄子：伯伯你干什么！快开门！臭秃

头！恶老头子，我要杀了你！

伯父：混蛋！你就在里边给我清醒清醒

大脑！

留下这样的话，叔叔就不知道去了哪里了。

侄子乱骂一通后，精疲力尽地躺在地上

睡着了。他醒来后饿得要命，但是没有吃的。

幸好有一桶水缸在那儿，所以至少可以饮水。

他喝着水忍耐着饥饿，想起了至今为

止的行为，也反省了。

侄子：我是多么笨蛋的男人，唉……肚子还是很饿。

过了一个星期左右，伯父来给他送了一碗粥，他狼吞虎咽地吃下了。

侄子：好吃！好吃！这样好吃的东西我第一次吃！

以后他改变了对生活的态度，从此愿意为穷人花钱，他在街头给穷人发粥。

再后来，他就被称为“粥大人”了。

日本語訳 ・お粥長者・

昔、有る所に貧しくとも心優しい一人の農夫がいた。

ある日の事、彼は畑を耕していたら偶然にも財宝を掘り当て、

生活は一変してしまった。

突然、金持ちになったものだからお金の使い方が分からない、

いわゆる成金である。

彼は贅沢三昧の生活を始め、特に食べ物にはこだわりをみせ、

”美食長者”と呼ばれた。

それだけならまだしも、性格までも変わり横柄で人を見下すようになってしまった。ある日、噂を聞き付けた伯父がやって来た。

甥「これはこれは伯父上お久しぶりで、私は最近仕事が馬鹿馬鹿しくなり、美味しいものも食べ飽きてしまいました。」
伯父「ほうそうか、ならば美味しいものを食いに連れて行くぞ。」

甥「本当ですか、金なら有りますよ、ハハハ。」

しばらくして二人は町はずれの小さな家にたどり着いた。

甥「え？ここですか？」

伯父「良いから中へ入れ！」

音を立ててドアを開けた！

伯父は甥を部屋に押し込むと外から鍵をかけてしまった。

甥「伯父上、何をするんですか！早く開けろ！ハゲ！クソジジイてめえ、ぶっ殺すぞ！」

伯父「馬鹿者！お前はそこで頭を冷やせ！」

そう言い残すと伯父はどこかへ行ってしまう。

彼は散々、悪態をついて疲れ果て寝てしまいました。

目が覚めると腹が減って仕方が無い、しかし食べ物は無い。

幸いにも水がめが置いて有ったので飲み水には困りませんでした。

彼は水を飲んで空腹を我慢し、今までの行いを思い出して反省しました。

甥「俺はなんて馬鹿な男だ、ああ……やはり腹が減った。」

1週間ほどすると伯父が戻って来て、彼に1杯の粥を与え、彼はむさぼるように食べた。

甥「美味い！美味い！こんな美味しい物は初めてだ！」

彼は生活態度を改め貧しい人々の為にお金を使い、街角で貧しい人に粥を施すようになりました。

その後、彼は”お粥長者”と呼ばれるようになりました。